

和納小学校の創立と伝統

～和納小学校 153年の歴史紙芝居～



むかしむかし、今から１００年以上も前のことです。
弥彦山をのぞみ、田んぼが広がる和納の村には、元気な子ども
たちが住んでいました。
でも、今のような学校は、まだありませんでした。



村の大人たちは、話し合いました。

「これからの時代、字を読んだり、考えたりする力が大切だ」
「和納の子どもたちにも、学ぶ場所をつくってあげたい」
そんなねがいが、少しずつ、大きくなっていきました。



そして、今から 1 5 3 年前の明治 6 年 1 月 2 1 日。
村の人たちが力を合わせて、学校をつくりました。
それが、和納小学校です。はじめは願善寺をかりて 6 0 人の
子どもたちが学びました。



むかしの教室は、今よりもずっと小さく、道具もたくさんはありませんでした。それでも、子どもたちは、学校で楽しく一生けんめいに勉強をしました。「学べるって、うれしいな」そんな気持ちが教室いっぱいに広がっていました。



たいへんな戦争や、ものが少ない時代もありました。
雪の多い冬も、子どもたちは学校へ通いました。そのたびに、
地域の人たちは学校を支え、子どもたちを守りました。
学校は、みんなの思いがつまった大切な場所でした。



また、和納小学校では、昔から地域とのつながりを大切にしてきました。自然に学び、人に学び、助け合って生きること。
それが、和納小学校の伝統です。



時代は変わり、校舎も新しくなりました。
でも、大切なことは変わっていません。
友だちを思いやる心。みんなで力を合わせる心。地域を大切に
する心。それは、今も変わらず大切なことです。





今、和納小学校に通っているみなさんは、この長い歴史のつづきです。学校を大切にすること。友だちを大切にすること。地域を大切にすること。それが、これからの和納小学校の伝統になります。



和納小学校は、人の思いが繋がってできた学校です。
これからも、みんなの力で、大切にしていきたいと思います。
おしまい

おめでとう☆和納小学校

2026年1月21日（水）

